

ワルシャワにあるポーランド系ユダヤ人歴史博物館で、Infotrend の 4U 60-bay のストレージと JBOD を使って IT ルームの設置面積を最適化

顧客

ポーランド、ワルシャワにあるポーランド系ユダヤ人歴史博物館

課題

- 博物館の収集物のデジタル化プロジェクトで発生した大規模なデータを保存するのに十分なストレージ容量がない
- サーバールームのラックスペースには限界がある

ソリューション

EonStor DS 3060RT2 と拡張筐体 JB 3000 4U 60-bay:

- 既存のラックキャビネットに適した 4U 60-bay の筐体
- SANWatch ソフトウェアを使った直感的な集中管理
- 新しい TB レベルの素材に対する容易な拡張性

「施設として、文化遺産に関連する大量のデータを保管することが求められます。ストレージ市場を分析した結果、Infotrend のストレージを使うことに決めました。その理由は、必要な機能や容量の拡張性を手頃な価格で手に入れることができ、4U 60-bay の筐体が限られたラックスペースに適していたからです。」と IT 部門の Tomasz Kuźma は述べています。

ワルシャワにあるポーランド系ユダヤ人の歴史博物館では、所有する資料のデジタル化プロジェクトを実施する際に、データを保存するために必要となる容量が不足するという問題が発生しました。ほとんどのデータがマルチメディアで構成されているため、それらのファイルを全て収納できる大容量を持ち、新たに作成される資料のために数 TB の空き容量を簡単に拡張できるストレージを探すことが博物館の目的となりました。以前採用した Infotrend のソリューションのおかげで、容量拡張作業は簡単に実施できました。現在、博物館の基盤はマルチメディア資料を保存し、現場の赤外線システムをバックアップするのに必要なストレージスペースを提供できます。

課題

その施設は、データセンターのスペースが限られているという問題を解決し、将来拡張可能な大容量を持つストレージソリューションを探していた。問題は:

- 既存のストレージは、大量のデータを保存と保管するのに十分な容量がない。しかも、データは着実に増えていく。
- ラックスペースが限られているため、サーバールームに設置するためには、高密度のストレージが必要である。

ソリューション

博物館は、以前 Infotrend のストレージ EonStor DS 3060RT2 を購入していました。新たに、資料のデジタル化プロジェクトのために、4U 60-bay の JB 3000 を選び、4TB の HDD を搭載しました。4U ラックキャビネットの小さなスペースを使い、博物館の IT 管理者は 1 つのサブシステムで 60 台のドライブを搭載できました。さらに、ストレージ付属の SANWatch 集中管理プラットフォームを使って簡単に管理ができます。これらのディスクスペースは、マルチメディアファイルの保存と保管だけではなく博物館の主要な IT システムのバックアップにも使われます。

Infotrend を選択する理由

- ラックキャビネットにぴったりの 4U 60-bay 筐体
- SANWatch ソフトウェアで簡単に使える集中管理機能
- 新たな TB レベルの資料に対応した容量の拡張性
- 高い価値を手頃な価格で提供
- 優れた顧客サービスと技術サポート
- 以前から使っている Infotrend 製品による良い経験



ポーランド系ユダヤ人の歴史博物館について

ポーランド系ユダヤ人の歴史博物館は、2013 年 4 月に公開されました。同館は現在、特別展示、上映会、討論会、ワークショップ、演技、コンサート、講演会、その他多くの文化プログラムを実施する文化教育センターとして機能しています。常設展示は、千年に及ぶポーランド系ユダヤ人の歴史についてで、2014 年 10 月 28 日から展示されています。詳細については、同館の website <https://www.polin.pl/en/about-museum> でご確認ください。